

医療コミュニケーション

責任者名：上原 任（医療人間科学 専任講師）

学期：後期

対象学年：3年

授業形式等：演習

◆担当教員

上原 任(医療人間科学 専任講師)

三澤 麻衣子(医療人間科学 専任講師)

寺嶋 利子(医療人間科学 兼任講師)

本橋 佳子(医療人間科学 兼任講師)

大川 安美(医療人間科学 兼任講師)

◆一般目標（GIO）

現代の医療において、患者と十分なコミュニケーションをとることは必須条件である。本教科では、多種多様な患者が存在することを理解し、医療における患者との信頼関係を確立するために必要となるコミュニケーションの基本的な理論・技能を理解する。さらに、重要性を理解した上で実際のコミュニケーションにおける改善点を見出す能力を身につける。

◆到達目標（SBOs）

- ①コミュニケーションの目的と技法を述べることができる。
- ②必要な情報を整理し、わかりやすい説明のための準備ができる。
- ③説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮するための技法が実践できる。
- ④患者に診断結果などを説明する際の留意事項を説明できる。
- ⑤患者との信頼関係を築くための条件を説明できる。
- ⑥患者の価値観が多様であることを認識し、例を挙げるができる。

◆評価方法

小テスト(4回)10%・演習成果物の提出(8回)30%・平常試験(技能・1回)10%・定期試験50%で評価する。

平常試験に対するフィードバックは当該試験後の授業時に、演習成果に対するフィードバックは当該授業の最後に実施する。

提出を指示した演習成果物等の未提出や参加態度不良は減点の対象とする。

全時間の出席が前提なので、欠席した場合は補完授業を受けること。

無断欠席は大幅な減点の対象とする。

◆オフィス・アワー

| 担当教員 | 対応時間・場所など | メールアドレス・連絡先 | 備考 |
|--------|-----------------------------------|------------------------------|----------------------|
| 上原 任 | 月曜日 17:00～18:00 3号館3階医療人間科学研究室 | uehara.tamotsu@nihon-u.ac.jp | 来室する場合は事前にメールで連絡すること |
| 三澤 麻衣子 | 月曜日 12:00～13:00 | oshikawa.maiko@nihon- | 来室する場合は事前にメ |

| | | | |
|-------|-----------------|---------|-----------|
| | 3号館3階医療人間科学研究室 | u.ac.jp | ールで連絡すること |
| 寺嶋 利子 | 授業終了後に質問を受け付ける。 | | |
| 本橋 佳子 | 授業終了後に質問を受け付ける。 | | |
| 大川 安美 | 授業終了後に質問を受け付ける。 | | |

◆授業の方法

演習形式の科目である。

基礎的な知識については予習を基盤にした講義を行う。

実践的内容については視聴覚教材を題材にしたディスカッションを主体に演習を行う。

演習成果の提出を指示したものは評価の対象なので必ず提出すること。

【実務経験】上原 任：日本大学歯学部附属歯科病院口腔外科での経験等の話も交えながら、臨床現場において本教科で学ぶコミュニケーションの理論や技法がいかに活かされるかについて学ぶ機会を提供する。

【実務経験】永瀬安美：日本大学歯学部での模擬患者としての経験に基づき、医療コミュニケーションで医療者が陥りがちなエラーについて学ぶ機会を提供する。

◆アクティブ・ラーニング

スモールグループディスカッションとグループワークを取り入れて演習を行う。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

| 種別 | 図書名 | 著者名 | 出版社名 | 発行年 |
|------|-------------|---------|------|---------|
| 教科書1 | スタンダード社会歯科学 | 石井 拓男 他 | 学建書院 | 2018 以降 |
| 教科書2 | はじめての医療面接 | 斎藤 清二 | 医学書院 | 2000 |
| プリント | プリント配付 | | | |

◆DP・CP

[DP-6] コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

[CP6] 他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

[CP7] 歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

事前に教科書を読んで、授業内容の概要を理解しておくこと。

特に、準備学習の範囲が指示された場合には必ず予習をしてもらうこと。

復習は次回への準備学習に相当するので積極的に行うこと。

◆準備学習時間

授業時間は合計 30 時間である。さらに 15 時間以上を予習・復習に充てる必要がある。

予習・復習の内訳は各自に一任するが、本教科は予習に重点をおいて進行する。

◆全学年を通しての関連教科

第 2 学年・前期・医療と倫理

第 2 学年・後期・プロフェッショナリズムと行動科学

第 3 学年・前期・医療と福祉

第 4 学年・前期・医療面接

第 4 学年・後期・診査診断学実習

◆予定表

| 回 | クラス | 月日 | 時間 | 学習項目 | 学修到達目標 | 担当 | コアカリキュラム |
|---------|-----|------|-------------|---|---|------|---|
| 1, 2 | | 9.11 | 6 ～ 7 | 1. 医療コミュニケーション総論 1)総論 | <ul style="list-style-type: none"> ・現代の歯科医療において人間性が重要視されていることを説明できる。 ・患者との信頼関係づくりを行うことの重要性について説明できる。 ・この教科の学修内容の概略を説明できる。 ・準備学習の範囲と内容を知る。 | 上原 任 | C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 D-4-3 患者中心の医療とインフォームド・コンセント |
| 3, 4 | | 9.25 | 6 ～ 7 | 「小テスト」 1. 医療コミュニケーション総論 2)医療面接の意義と目的 (小テストの解説を含む) (教 1)pp.19-21 | <ul style="list-style-type: none"> ・平常試験を行い準備学習の内容について確認する。 ・解説により準備学習の内容について理解を深める。 ・医療面接と問診の違いを説明できる。 ・医療面接の 3 つの目的を説明できる。 ・患者—医療者関係について説明できる。 ・医療面接の基本技術を説明できる。 ・準備学習の範囲と内容を知る。 | 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) |
| 5, 6 | | 10.2 | 6 ～ | 「小テスト」 1. 医療コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・平常試験を行い準備学習の内容について確認する。 | 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と |

| | | | | | | | |
|-----------|--|-------|-------------|--|--|--------------------------------------|--|
| | | | 7 | <p>ケーション総論 3)医療面接のマナー (小テストの解説を含む) (教1)pp.22-29</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・解説により準備学習の内容について理解を深める。 ・医療コミュニケーションの進め方を知る。 ・質問法・傾聴技法の概要を説明できる。 | | 医療コミュニケーション) |
| 7, 8 | | 10.9 | 6 ~ 7 | <p>1. 医療コミュニケーション総論 4)認識の違い</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・同じ物を見ても受け手によって認識が異なることを知る。 ・患者と医療者の認識に差がある場合には医療者が歩み寄るべきことを説明できる。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 上原 任 三澤 麻衣 子 | C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) |
| 9, 10 | | 10.16 | 6 ~ 7 | <p>2. 説明・指導場面のコミュニケーション 1)歯科臨床における説明・指導場面のコミュニケーション(1)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患を題材に、患者に対する説明・指導内容を整理する。 ・患者に対する態度や説明・指導のあり方を知る。 ・平易な言葉遣いで疾患について説明できる。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 上原 任 三澤 麻衣 子 寺嶋 利子 本橋 佳子 | D-4-3 患者中心の医療とインフォームド・コンセント E-4-3 インフォームド・コンセント |
| 11, 12 | | 10.23 | 6 ~ 7 | <p>2. 説明・指導場面のコミュニケーション 2)SPIKES モデル 3)キューブラー・ロスによる死の心理過程 4)歯科臨床における説明・指導場面のコミュニケーション(2)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「悪い知らせ」を題材に、患者に対する説明・指導内容を整理する。 ・SPIKES モデルについて説明できる。 ・キューブラー・ロスによる死の心理過程について理解する。 ・患者に対する態度や説明・指導のあり方を体験する。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 上原 任 三澤 麻衣 子 寺嶋 利子 本橋 佳子 | D-4-3 患者中心の医療とインフォームド・コンセント E-4-3 インフォームド・コンセント |
| 13, 14 | | 10.30 | 6 ~ 7 | <p>「平常試験(技能)」 2. 説明・指導場面のコミュニケーション 5)歯科臨床における説明・指導場面</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・説明・指導場面の医療コミュニケーションの技能に関わる試験を行い、第7~12回の授業で学修した内容を確認する。 ・解説により理解度を確認する。 ・準備学習の範囲と内容を知る。 | 上原 任 三澤 麻衣 子 | D-4-3 患者中心の医療とインフォームド・コンセント E-4-3 インフォームド・コ |

| | | | | のコミュニケーション(3) 平常試験の解説 | | | ンセント |
|-------|-------|-----|--|---|---------------|--|------|
| 15,16 | 11.6 | 6～7 | 「小テスト」 3. 初診時医療面接 1)病歴聴取 (小テストの解説を含む) (教1)pp.29-31 2)医療倫理・患者の権利と医療コミュニケーション (小テストの解説を含む) (教1)pp.1-17 | <ul style="list-style-type: none"> ・平常試験を行い準備学習の内容について確認する。 ・解説により準備学習の内容について理解を深める。 ・問診と重なる部分(病歴聴取)について説明できる。 ・医療倫理やインフォームドコンセントと医療コミュニケーションの関係について理解する。 ・準備学習の範囲と内容を知る。 | 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接 | |
| 17,18 | 11.13 | 6～7 | 「小テスト」 3. 初診時医療面接 3)医療面接の基礎 (小テストの解説を含む) (教2)pp.序 iii-vi, pp.1-31 4)医療面接の技法概説 (小テストの解説を含む) (教2)pp.33-97 | <ul style="list-style-type: none"> ・平常試験を行い準備学習の内容について確認する。 ・解説により準備学習の内容について理解を深める。 ・初めて患者と出会う場面における医療面接の重要性を説明できる。 ・基本的な傾聴技法について知る。 | 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接 | |
| 19,20 | 11.20 | 6～7 | 3. 初診時医療面接 5)医療面接の技法(1) (教2)pp.33-51,65-71 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療面接技法における「導入」について説明できる。 ・医療面接技法における「質問」について説明できる。 ・医療面接技法における「傾聴」について説明できる。 ・医療面接で「聴き出すべきこと」について説明できる。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 大川 安美 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接 | |

| | | | | | | |
|---------------|-------|-------------|--|--|---------------|--|
| 21 ,2 2 | 11.27 | 6 ~ 7 | 3. 初診時医療面接 6)医療面接の技法 (2) (教2)pp.52-65,71-75 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療面接技法のうち「支持」と「共感」について説明できる。 ・医療面接技法のうち「要約と確認」について説明できる。 ・医療面接技法のうち「焦点付け」について説明できる。 ・医療面接の終え方について説明できる。 ・病歴聴取の実際の流れについて説明できる。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 大川 安美 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接 |
| 23 ,2 4 | 12.4 | 6 ~ 7 | 3. 初診時医療面接 7)医療面接の技法 (3) (教2)pp.77-97 | <ul style="list-style-type: none"> ・積極技法と言われる「指示」、「説明」、「情報提供」、「積極的要約」などについて説明できる。 ・「論理的帰結」、「自己開示」、「対決」など患者の意思決定に関わる技法について知る。 ・応用的事例についての対応法を知る。 ・医療面接が患者に与える心理的な影響について知る。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 大川 安美 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接 |
| 25 ,2 6 | 12.11 | 6 ~ 7 | 3. 初診時医療面接 8)医療面接の技法 (4) | <ul style="list-style-type: none"> ・医療面接技法のうち「要約と確認」の実践ができる。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 大川 安美 上原 任 | D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接 |
| 27 ,2 8 | 12.18 | 6 ~ 7 | 3. 初診時医療面接 9)多様な患者さんへの対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療面接における、多様な患者の心理面を配慮したコミュニケーションのあり方について知る。 ・演習によって理解を深める。 ・演習成果物を提出する。 | 大川 安美 上原 任 | C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) |

| | | | | | | | |
|-------|--|-----|-----|---------------------------------------|--|------|--|
| | | | | | | | D-4-3 患者中心の医療とインフォームド・コンセント E-2-1 初診時の医療面接 E-4-3 インフォームド・コンセント |
| 29,30 | | 1.6 | 6～7 | 4. 総括 1)医療コミュニケーションのまとめ 2)今後の学修 | <ul style="list-style-type: none"> ・当教科で取り上げた内容を振り返り、医療コミュニケーションに対する理解を深める。 ・患者と接する際のあり方について理解を深め、第4学年への各自の課題を明確にする。 | 上原 任 | C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 D-4-3 患者中心の医療とインフォームド・コンセント E-2-1 初診時の医療面接 E-4-3 インフォームド・コンセント |

